

2つの窓で心にゆとりを。 ~History and Scenery~

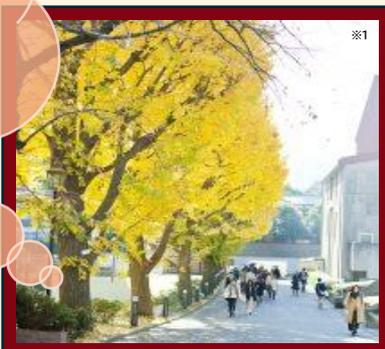
テーマはデジタルデトックス。

キリスト教学校の歴史と明学でしか味わえない景色の2つの窓を開き、
見て・聞いて・感じて・想像する時間を作りませんか？

対象は学生中心の若者。スマホが手放せない今日の若者に明学の心落ち着くステキな場所を紹介し、歴史的建造物に興味を持ってもらうことで、立ち入りにくいという認識をふらっと立ち寄れる空間へと変える。

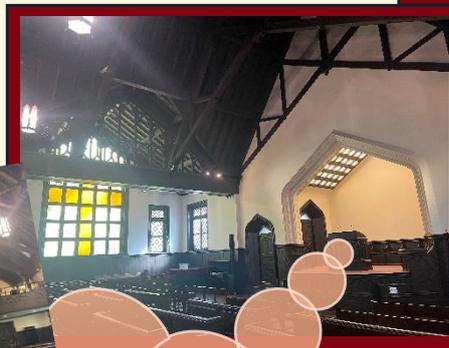
イチヨウの木と銀杏の匂い。
空の高さ・広さを感じるのにピッタリ。
自然が美しく色づく芸術の秋こそ
リフレッシュ・デジタルデトックス
への第一歩を踏み出そう！

【視線を上げてみる】



明学出身の詩人・島崎藤村。
彼が作詞した校歌を BGM
として、当時の写真や再現展示に
よって昔の明学の姿を想像する。
小説『桜の実の熟する時』の関連文
章を示し、小説と同じ空間・窓際
から見られる藤村の目にも映った
景色を堪能。藤村の目には
その景色がどのように
映っていたのだろうか？

【明学・チャペルについて知る】



オルガンの音。
ステンドグラスの光。

そんな幻想的な空間で、明学と
チャペルの歴史について学ぼう！
フランス黄金期を描いた
「王は踊る」の抜粋をスクリーン上映。
太陽光を建物内に取り込む
工夫とその意味を知り、
目の前の空間の美しさを
再認識しよう。

History & Scenery



【明学と島崎藤村について知る】



意見や考え・感じたことを
言葉にすることで自分の興味や
関心を整理する。また初対面の人々と
意見交換・コミュニケーションを取る
ことで、他者の考え・視点を得よう。

【コミュニティの形成】



★最後に八芳園のドリンクチケットをプレゼント！

八芳園の紅葉イベントでさらに自然を満喫し、身も心も開放的に
落ち着いたリラックスできる特別な一日を過ごしましょう！



絶対君主制の確立を目的に、ルイ 14 世
が太陽神アポロンを演じたことで、のち
に“太陽王”と呼ばれる所以となった作品
である。ここでは王が太陽神であること
を観客に理解させるため、真っ暗な部屋
にトップライトの自然光が入り、王が光り
照らされるシーンが印象的である。

画像の引用

※1) 明治学院大学ホームページ「大学入り口のイチヨウ並木」zz114619より引用

※2) 明治学院歴史資料館 YouTube「明治学院大学の歴史的建造物 記念館・インプリー館・礼拝堂」より引用

※3) BEIZ images CREATE WORLDS「錦秋の紅葉背景」より引用